



こんにちは

村田けい子です

2018.7.13
No 159

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

今週もにぎやかにホットステイ・温情停留 千葉県市川市の小学校5年生 6人を迎え



「この花は何の花かわかるかな？」ニンニクの花を前に説明。ヤーコンやスイカ、夕顔、小豆、大豆、アスパラガス、カボチャ・・・様々な作物の



「トマトやナスは脇芽を摘んで土にさしておくだけでついて、根を出します。そうやって増やすんですよ」



小さいスコップで、ジャガイモを掘る。小さい芋を掘り出すと歓声があがる。

先週に引き続き、今週も千葉市の小学生を迎えました。

最初に畑を歩いて作物の説明。「これは何かわかる？」と作物を紹介します。カボチャやスイカ、夕顔は食べた後の生ごみから芽を出したものと説明に、驚きの様子。

種の持つ生命力に気づいてもらう。その後キュウリを一本づつ収穫してもらおう。取り残しておいたキュウリを「どれにしようかな」と考えながらハサミで取る。それからジャガイモの収穫を一人2本づつ掘り起こしてもらおう。慣れない手つきで小さいスコップで土を掘り、中からジャガイモを探し出す。11時の休憩には、立科の美味しい水、消毒薬の臭いのしないおいしい水と氷水で冷やしておいたキュウリを味噌をつけて食べてもらう。もちろん「手作りだよ」と言いながら。

お昼には、ジャガイモの入ったおみそ汁、もぎたてトマトも食卓に。先ほど掘り出したジャガイモをバター・醤油で味付けた一品を出す。「ウメェ、おいしい」といいながら平らげてくれました。

午後はカエルを捕まえに神社に。田の畔にピョンピョン飛び出すカエルをワーワー言いながら捕まえ、バケツに入れて遊んでいます。「この川に入っているの？」と戸惑いながら、お宮の水路に入って大はしゃぎ。「うちのところには入って遊べる川がないんだよね」近くのグループとも合流してワンちゃんとも一緒になって水遊び。ご近所の農家の方がラズベリーを差し入れてくれました。どの人とも顔なじみで親しくしている農村の人間関係や豊かな自然、農家の知恵、農村の良さを学んでくれたら、と思います。



藤沢から塩沢地区に抜ける町道

何日も降り続いた雨で地盤が緩み、大風で揺すられてカラマツが3本ほど倒れていました。役場に通報すると直ちに道路をふさいでいた倒木を切断し、通行できるようになっていました。広島など中国、九州、四国地方に大変な被害を出している大雨、温暖化の影響でしょうか、異常な大降りです。山を背負っている地域のみなさんは、引き続きご注意下さい。

西日本豪雨災害で被災されたみなさんに心よりお見舞い申し上げます。



ようこそ
女神の里へ



用事の途中で立ち寄った道の駅「女神の里」。窓枠には手作りのウサギさんと金平糖の紫陽花の花。百合の花が活けてありました。トイレの手洗い場にもスカシユリ。おもてなしの心が感じられました。

浅間連山を望める窓にはアガパンサス。夏らしいさわやかな生け花です。立科町のさわやかさが伝わる作品でした。

今週のパチリ



1、ブロック塀の安全点検、2か所が該当。災害があつてすぐに町有施設にあるブロック塀の点検をしたところ、ふるさと交流館芦田宿と中学校のコンクリート壁13.2mが劣化が心配されるとのことです。私有地のブロック塀の点検については、町として鉄筋が入っているかを探知できる機器を1台購入予定。(3~5万円程度・9月補正で) 個人への貸し出しを検討することに。

町有地のブロック塀についてはフェンス等への設置替えを検討、私有地のブロック塀の取り壊しの促進策として補助制度を調査・検討することにしていきます。「通学路を優先して」と議員より要請がありました。

2、オレゴン親善大使兼ALT (英語指導助手) 決まる。

前任のAETの先生が突然退任し、後任の教師を姉妹都市のオレゴン市に要請していましたが、この度、決まり報告されました。

ダラ・リカルドさん(女性・20才)
オレゴン州ポートランド市在住。
2学期から英語授業のサポートを
してもらう予定。大学では日本語
を学び、日本に関心が高い方だそうです。



4、「電算共同化システム」参加問題

いよいよ決断の時！ (次号に続く)

【6月21日開催の幹事会(事務方の会議)での報告より】

①平成24年度の経常経費の再調査・・・基本的に電算システムにいくらかかるかについて、12町村より見直しの申し出がありそれぞれ減額報告があったこと。

②再調査の金額を基に、幹事会で決定した算出方法による負担金の試算報告があった。(2つの自治体が未報告の為、数字はさらに変動する可能性あり)

| |
|---|
| それによると、 経費削減率 20.97% (14町村平均) (10年間現システム使用の場合の試算) 立科町の前期(H28~32年)経費削減率 2.04% |
|---|

*現システム(BSNアイネットに委託)では、町の経費削減率は他町村に比べて極めて低く、約2656万円も損をしていることになるそうです。なぜ当町だけ減る率が低いのか、それだけ現在お願いしている(株)電算が効率的運営をしているからか、その理由は不明です。

現在複数の村で後期に移行しない方向が示されており、今後どうするのか、決断が迫ります。

3、ハートフルケアたてしなの 決算状況について(平成29年度)

「社会福祉法人ハートフルケアたてしな」は町が金融機関に対し損失補償を約束している法人であるため、議会に財務状況を報告する義務があります。

平成28年12月以降は、ヘルパーなど人員の確保ができたため特養などは全床稼働となっていますが、介護報酬削減のあおりを受けて、経営自体は310万円ほどの赤字との報告を受けました。

【新施設】

- ・特養ホームすずらん
稼働率94.4%(前年度83.3%)
- ・デイサービスセンターほほえみ
平均22.5人/40人/一日 56.25%
- ・居宅介護支援事業所たてしな
2,424件(前年度1,953件)
前年度比124.11%
- ・施設内保育所キラキラハウス
年度末園児数7名 保育士3名

【旧施設継続】

- ・デイサービスセンター やすらぎ
21.5人/40人定員 53.75%(前年同率)
- ・グループホームだんらん
平均利用8.9人/定員9人 99.1%

【その他】

- ①高齢者共同住宅あんしん8名/8名定員
- ②地域包括支援センター業務委託
- ③地域支援事業(食の自立支援)
配食サービス 平成30年1月~

【財務状況】

2年据え置きで平成29年~
平成29年3月1日までに返済予定
平成29年度は 約6,800万円返済
立科町にとって大切な施設ですね。

